

〔第 1 号議案〕

大会テーマ・シンボルマーク（案）等について

大会テーマ・シンボルマーク専門委員会による選考結果に基づき、各最優秀賞および優秀賞を下記のとおりとし、各最優秀賞を大会テーマ、シンボルマークとすることをお諮りします。

最 優 秀 賞 （ 各 1 作 品 ）


【大会テーマ(案)】 木を植えよう びわ湖も緑のしずくから

【作者】 やすおか なおき 保岡 直樹（東京都）

【委員会講評】

- ・わかりやすい言葉で水、木、森、湖の繋がりを表現できている。

【シンボルマーク(案)】



【作者】 まつおか ひでお 松岡 英男（山形県）

【委員会講評】

- ・琵琶湖とそれを取り巻くみどりのなかに「よろこび」が感じられるデザインである。

優 秀 賞 （ 各 3 作 品 ）

【大会テーマ（優秀賞作品候補）】

- 湖国から 未来につなぐ 森づくり
- 次世代に 守ってつなぐ 森と水
- 湖国から 築く緑の 夢未来

【シンボルマーク（優秀賞作品候補）】







【第1号議案（別紙）】

大会テーマ・シンボルマーク専門委員会について

1 大会テーマ・シンボルマーク専門委員会への付託事項

大会テーマおよびシンボルマークの募集、審査・選定に関すること。

- ・大会テーマの審査・選定
- ・シンボルマークの募集方法等の検討、審査・選定

2 大会テーマ・シンボルマーク専門委員会委員

(敬称略)

区分	氏名	所属・役職等
委員長	石河 康久	滋賀県琵琶湖環境部 部長
委員	石川 亮	学校法人京都成安学園成安造形大学 准教授
	齊藤 江湖	印章彫刻師 書家
	佐々木 建雄	(公財)滋賀県緑化推進会 理事
	土田 亮太	合同会社 ATE UNIVERSE 代表取締役社長
	松田 千春	滋賀県知事公室広報課 課長

3 委員会での検討内容および結果

審査の過程

【大会テーマ】

- ◆公募（平成30年10月12日～11月30日）
 - ・ 1730 作品の応募（うち、滋賀県からの応募 495 作品）
- ◆書類審査（平成30年12月5日および平成30年12月7日～12月17日）
 - ・ 委員長による明らかな審査基準外作品の除外、1次審査通過は 1681 作品
 - ・ 1次審査通過作品から各委員10作品を選出、2次審査通過は 56 作品
- ◆専門委員会第1回会議および専門委員会第2回会議
(平成30年12月20日および令和元年6月10日)
 - ・ 各委員の合議により最優秀賞作品、優秀賞作品、次点作品の各候補を選定

【シンボルマーク】

- ◆専門委員会第1回会議（平成30年12月20日）
 - ・ シンボルマーク募集要領および審査要領の検討
- ◆公募（平成31年2月12日～3月31日）
 - ・ 393 作品の応募（うち、滋賀県からの応募 34 作品）
- ◆書類審査（平成31年4月18日および平成31年4月22日～令和元年5月10日）
 - ・ 委員長による明らかな審査基準外作品の除外、1次審査通過は 361 作品
 - ・ 1次審査通過作品から各委員6作品を選出、2次審査通過は 36 作品
- ◆専門委員会第2回会議
(令和元年6月10日)
 - ・ 各委員の合議により最優秀賞作品、優秀賞作品、次点作品の各候補を選定

審査基準

【大会テーマ】

- (1) 大会の開催理念・開催方針を理解し、表現した作品であること
- (2) 滋賀県らしさを感じさせ、広く全国に発信できる作品であること
- (3) 簡潔でわかりやすい作品であること
- (4) 過去の大会の作品や、その他既存の作品に類似していないこと

【シンボルマーク】

- (1) 大会の開催理念を踏まえたデザインであること
- (2) 滋賀県らしさを感じさせる作品であること
- (3) 第72回全国植樹祭のシンボルマークとして、普及啓発物品等に活用しやすい作品であること
- (4) 過去の大会の作品やその他既存の作品に類似していないこと

審査結果

【大会テーマ】

区分	作品
最優秀賞作品候補 (大会テーマ候補)	木を植えよう びわ湖も緑のしずくから
優秀賞作品候補	湖国から 未来につなぐ 森づくり
	次世代に 守ってつなぐ 森と水
	湖国から 築く緑の 夢未来

【シンボルマーク】

区分	作品
最優秀賞作品候補 (大会シンボルマーク候補)	
優秀賞作品候補	  